

看護学教育モデル・コア・カリキュラム（令和 6 年度改訂版）の遺伝関連項目

看護学教育モデル・コア・カリキュラム（令和 6 年度改訂版）に「遺伝医療/ゲノム医療・遺伝看護」関連項目が新たに含まれました。
本資料は「遺伝医療/ゲノム医療・遺伝看護」関連項目を抽出した一覧です。

①【看護学士課程を修了した看護師として求められる資質・能力】
(https://www.mext.go.jp/content/20250324-mxt_igaku-000040938_4.pdf より)

<Miller ピラミッド>

段階	資質・能力	評価方法の例
Does	根拠を理解して、臨地で実践できる。	臨地実習での直接観察評価
Shows How	根拠を理解して、模擬的な環境で行動・実演できる。	Simulation-based learning
Knows How	収集した情報を分析・解釈し、臨地への活用方法を考えられる。	臨床問題解決演習
Knows	専門職としての能力を発揮するために必要な知識がある。	伝統的な多肢選択問題

第 1 階層	第 2 階層			第 3 階層		第 4 階層		第 4 階層に対する到達度		指導体制と委託の程度
								卒業時	各領域実習前時点	臨地実習時点
GE：対象を総合的・全人的にとらえる基本的能力	GE-02	対象アセスメントの視点と看護	対象者のライフサイクルにおける健康段階、発達課題、社会的役割の変化を捉え、生活者の健康課題・健康問題を踏まえ、看護を計画・実施できる。	GE-02-01	対象の全体像	GE-02-01-01	対象の遺伝的多様性を踏まえ、個性、生活習慣、日課や生活史、および、生活の仕方等の生活の個別性を理解している。	Shows How	Knows How	学生が実施
	GE-07	家族の理解と家族看護	家族のライフサイクルに沿って家族システム、家族機能をアセスメントし、家族ケアを実践できる。	GE-07-02	家族看護の基本	GE-07-02-03	ジェノグラム、エコマップ等家族構成や関係性を図示し、評価できる。	Shows How	Knows How	学生が実施
PR：プロフェッショナリズム	PR-02	看護職としての倫理的行動	生命に関する倫理および医療における倫理の基本を理解し行動できる。	PR-02-03	医療における倫理的問題の理解	PR-02-03-01	遺伝医療における倫理的・法的・社会的配慮について理解している。	Shows How	Knows How	教員等の直接の監督下で実施
CS：患者ケアのための臨床スキル	CS-04	専門的知識に基づいた看護技術	専門的知識に基づいたコミュニケーション技術、感染予防技術、日常生活を支援する技術、生命活動を支える技術、治療・処置・検査に伴う援助技術等の看護技術を実践できる。	CS-04-09	治療・処置・検査に伴う援助技術の基本	CS-04-09-05	薬剤の有効性や安全性とゲノムの多様性との関係について概要を理解している。	Shows How	Knows How	見学

第 1 階層	第 2 階層 第 2 階層 学習目標			第 3 階層		第 4 階層		第 4 階層に対する到達度		指導体制と委託の 程度
								卒業時	各領域実習前 時点	臨地実習時点
CS： 患者ケアの ための臨床 スキル	CS-06	健康障害 や治療・ 検査に対 する看護 実践	健康障害や治療・検査 に対する看護実践がで きる。	CS-06-02	遺伝看護	CS-06-02-01	遺伝性疾患をもつ人々の遺伝情報を基にした適切な検査・診断・治療の方法ならびに看護の概要を説明できる。	Shows How	Knows How	学生が実施
						CS-06-02-02	新生児マスキング検査、出生前遺伝学的検査、着床前遺伝学的検査の動向と検査時に必要な看護を理解している。	Shows How	Knows How	学生が実施
						CS-06-02-03	遺伝性疾患をもつ人々と家族の遺伝的なつながりが家系員の健康状態にもたらす影響と適切な支援の概要を理解している。	Shows How	Knows How	学生が実施
						CS-06-02-04	遺伝性疾患をもつ人々への遺伝カウンセリングや未発症者を含む家族の家族・血縁者間での遺伝情報共有時の配慮について理解している。	Shows How	Knows How	学生が実施
						CS-06-02-05	遺伝型と表現型の関係、遺伝情報に基づく経過を知り、生涯にわたる支援や世代を超えて必要となる支援の概要を理解している。	Shows How	Knows How	看護師の直接の監督下で実施
						CS-06-02-06	各ライフサイクルにおいて遺伝性疾患や染色体異常の課題を抱える人々や家族の特徴を踏まえてアセスメントし、移行支援の概要を理解している。	Shows How	Knows How	看護師の直接の監督下で実施
	CS-07	幅広い知識に基づいた臨床判断	論理的思考に基づく臨床判断について理解し、臨床判断における情報の知覚、情報識別・情報の解釈・意味付け、反応・省察、専門職連携を実践できる。	CS-07-02	臨床判断における情報の知覚	CS-07-02-03	病歴や生活歴（主訴、現病歴、常用薬、アレルギー歴、既往歴、家族歴、嗜好、生活習慣、社会歴・職業歴、生活環境、家庭環境、海外渡航歴、システムレビュー）の面接、五感（視覚・聴覚・触覚・嗅覚・味覚）を活用した観察等、包括的・系統的アプローチにより情報収集し、フレームワークを活用して整理できる。	Shows How	Knows How	看護師の直接の監督下で実施
CM： コミュニケーション能力	CM-04	対象者との援助関係の促進	アセスメントガイドを活用し健康に影響を与える個人的、社会的、経済的、環境的要因を理解し、コミュニケーションできる。	CM-04-01	アセスメントガイドを用いた情報整理	CM-04-01-01	主訴、現病歴、常用薬、アレルギー歴、既往歴、家族歴、嗜好、生活習慣、社会歴・職業歴、生活環境、家庭環境、海外渡航歴、システムレビュー等を情報収集し、整理できる。	Does	Does	学生が実施
PS： 専門知識に基づいた問題解決能力	PS-06	生命維持と日常生活行動	看護の基盤となる生命維持と日常生活行動の関連について理解し、看護実践に活かすことができる。	PS-06-08	しくみの理解と看護活動（性を営む）	PS-06-08-01	性を営むしくみである遺伝による男と女（染色体（遺伝子）の性・性の分化異常）、ホルモンによる男と女（性腺の性と分化・性管の性と分化・外生殖器の分化・脳の性分化）、男性生殖器ならびに女性生殖器の構造と機能について理解し、支援するための看護活動を説明できる。	Does	Does	学生が実施
	PS-10	健康障害の程度と段階に応じた看護実践	健康障害の程度と段階に応じた看護を実践できる。	PS-10-04	健康障害に対する放射線療法	PS-10-04-03	放射線被ばくのしくみ、放射線の作用と DNA への影響、人体への影響の発生機構、放射線による身体的影響と遺伝的影響、身体的影響の発生時期、被ばく線量とがんの発生率（確率の影響）、主な組織反応のしきい線量を理解している。	Knows How	Knows	教員等の直接の監督下で実施

第 1 階層	第 2 階層 第 2 階層 学習目標			第 3 階層		第 4 階層		第 4 階層に対する到達度		指導体制と委託の 程度
								卒業時	各領域実習前 時点	臨地実習時点
PS： 専門知識に 基づいた問 題解決能力	PS- 11	身体を守 るしくみ と異常に 対する看 護実践	看護の基本となる身体 を守るしくみと異常に 対する看護を理解し、 実践できる。	PS- 11-01	遺伝医療と ゲノム医療 に対する看 護実践	PS-11- 01-01	ゲノムと染色体と遺伝子、遺伝の基本的事項 (DNA の複製と修復、DNA から mRNA への転 写、タンパク質合成に至る翻訳を含む遺伝情報の 発現および調節 (セントラルドグマ))、および染 色体分析、ゲノム解析技術の基本事項を理解して いる。	Does	Knows How	見学
						PS-11- 01-02	個人の成長・既往歴と三世代の家族歴の情報を聴 取し、血縁者の関係を明確にする家系図を作成・ 活用することができる。	Does	Knows	見学
						PS-11- 01-03	遺伝的課題を抱える人々への看護の基本的事項と 遺伝医療の関係機関・職種と連携する重要性を理 解し、看護活動を説明できる。	Does	Knows	見学
				PS- 11-06	障害に対す る細胞・組 織の反応に 対する看護 実践	PS-11- 06-01	対象の細胞の寿命、DNA 損傷・修復、組織の修復 を促進・阻害する因子について基本的事項を理解 し、看護活動を説明できる。	Does	Shows How	見学
				PS- 11-07	腫瘍に対す る看護実践	PS-11- 07-01	腫瘍性疾患発症の遺伝的素因・基礎疾患・感染 症・環境生活習慣等のリスク因子、腫瘍の予防・ 検診について理解している。	Does	Knows How	学生が実施

②【教育内容】(https://www.mext.go.jp/content/20250317_mxt_igaku-000040938_3.pdf より)

表4 構造と機能、症状・徴候、疾患、検査、治療

表4-16 遺伝性疾患

構造と機能	症状・徴候	分類	疾患	検査	治療
セントラルドグマ 塩基配列 染色体と細胞分裂の 機序 常染色体顕性遺伝 常染色体潜性遺伝 X染色体連鎖性遺伝 ミトコンドリア遺伝 多因子遺伝	多発性	染色体異常症	ダウン症候群	遺伝学的検査 染色体核型分析 染色体構造異常解析 新生児マススクリーニング 胎児超音波(エコー)検査 出生前遺伝学的検査 発症前遺伝学的検査 着床前遺伝学的検査 ハイリスク臓器のサーベイラ ンス	対症療法 薬物療法 酵素補充療法 除去食 遺伝子治療 手術療法 リスク低減手 術
	若年性		13, 18トリソミー		
	先天性		ターナー症候群		
	難治性		22q11.2欠失症候群		
	遺伝性	遺伝性神経筋疾患	ジストロフィン異常症		
	進行性		家族性筋萎縮性側索硬化症		
			遺伝性トランスサイレチンアミロイ ドーシス		
			脊髄性筋萎縮症		
	遺伝性循環器/結合組織疾患	遺伝性不整脈			
		マルファン症候群			
		家族性高コレステロール血症			
	遺伝性骨系統疾患	軟骨無形成症			
	遺伝性皮膚・感覚器疾患	遺伝性難聴			
		色素性乾皮症			
		網膜芽細胞腫			
	遺伝性腎疾患	常染色体顕性多発性嚢胞腎			
	先天代謝異常症	フェニルケトン尿症			
		ファブリー病			
	ミトコンドリア遺伝病	ミトコンドリア脳筋症・乳酸アシ ドーシス・脳卒中様発作症候群			
	多因子遺伝病	口唇・口蓋裂			
	遺伝性腫瘍	遺伝性乳がん卵巣がん			
		リンチ症候群			

表 5 主な臨床・画像検査 に「遺伝子関連・染色体検査」が学べき検査項目として示されています。

表5 主な臨床・画像検査

検査項目	
血液学検査	
血液生化学検査	
免疫血清学検査	
尿検査	
便検査	
血液型(ABO、RhD)検査、血液交差適合(クロスマッチ)試験、不規則抗体検査	
動脈血ガス分析	
妊娠反応検査	
細菌学検査(細菌の塗抹、培養、同定、薬剤感受性試験)	
脳脊髄液検査	
胸水検査	
腹水検査	
骨髄検査	
病理組織検査や細胞診検査(術中迅速診断を含む)	
遺伝子関連・染色体検査	
心電図検査	
呼吸機能検査	
内分泌・代謝機能検査	
脳波検査	
超音波(エコー)検査	
X線撮影	
CT 検査	
MRI 検査	
核医学検査	
内視鏡検査	

